

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 8 年度第 1 回愛川町社会教育委員会議		
事務局 (担当課)		教育委員会生涯学習課 内線 3 6 4 2		
開催日時		令和 8 年 6 月 2 5 日 (木) 午後 2 時～午後 4 時		
開催場所		文化会館 3 階特別会議室		
出席者	委 員	1 2 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	9 人 (教育長ほか 8 人)		
公開の可否		☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開	傍聴者数	0 人
非公開・一部公開 の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 委員委嘱 4 議 題 (1) 愛川町の教育について (2) 令和 8 年度生涯学習課事業計画について (3) 令和 8 年度スポーツ・文化振興課事業計画について (4) 社会教育関係団体の令和 8 年度事業について (5) 社会教育委員の活動について 5 そ の 他 6 閉 会		

審 議 経 過

(1 / 8)

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

1 開会

2 あいさつ

<佐藤教育長よりあいさつ>

<議長よりあいさつ>

3 委員委嘱

4 議題

(1) 愛川町の教育について

<事務局から説明> 愛川町の教育方針および部活動の地域移行について

○（委員A）「愛川クラブ」について、入れる人数や指導者の人数に制限はあるか。

● 子供は誰でも入れる。指導者については、国の補助金要件により、2～3名の補助金はつく。

希望者が多い場合はローテーション制を導入する、あるいは面接をして選考するなどの方法を

考えている。意欲のある指導者を広く受け入れられる体制を検討している。

○（委員A）たとえば、お金の問題ではなく指導に大勢で携わることは可能なのか。

● 問題ない

○（委員B）小学校の学校運営協議会の委員として、年3回の会議に参加しているが、現状は学校

からの報告を受けるのみとなっている。もう少し深く関わり、具体的な学校運営について協議

ができる場を増やすべきではないか。

● 学校運営協議会の回数は決まっているが、必要に応じて校長と相談し、追加の集まりを持つ

ことは可能である。校長会等の場を通じて働きかけていきたい。

審 議 経 過

(2 / 8)

○（委員C）こうした声はあったので、地域学校推進委員が各学校におり、その方々を中心として集まりをもって何ができるか相談しようという提案はしてきている。

○（委員D）指導者に資格は必要なのか？

● 要綱で定めるが、履歴書を提出していただき、教育委員会で面接をして選考する予定。現在部活動の指導員が各学校に入っているのもその方に中心になっていただく予定。

○（委員E）指導員の目途は立っているのか？

● いま活動中の部活動についてであればいけるのではないかと考えている。各学校に現在も指導者がかなりいるので、今回これがクラブチームとして認定されれば教員の兼業・兼職が可能になり、小学校や高校の先生も雇用することが可能になる。愛川高校にもかなり部活動の指導をしたいという教員がいるのでそうした方に声掛けをしていきたい。

（2）令和8年度 生涯学習課事業計画について

＜事務局から説明＞ 令和8年度の実施の概要について

質疑なし。提案どおり了承。

（3）令和8年度 スポーツ・文化振興課事業計画について

＜事務局から説明＞ 令和8年度の実施の概要について

質疑なし。提案どおり了承。

（4）社会教育関係団体の令和8年度事業について

＜各委員より、所属団体の事業について報告＞

○（愛川町PTA連絡協議会）4月16日木曜日に新旧役員会、5月9日土曜日に総会を開催し、今年度の活動をスタートすることができた。今月18日木曜日には第1回の役員会を行った。

審 議 経 過

(3 / 8)

子どもたちの健全な育成を図るために、今年度のテーマを「学校・家庭・地域の連携を求め、P T Aはネットワークの要になろう」と設定し、関係団体との連携を図りながら、各単位P T Aの活動を発展させるために取り組みを計画している。今年度も引き続き町P連の役割やあり方などについて話し合いをしていくとともに、各学校のP T Aのあり方についても考えていきたい。

○（愛川町婦人団体連絡協議会）中津婦人会のメンバーを中心に、町や地域の行事への参加、清掃活動など、地域貢献活動を行っている。主な活動としては、町事業への参加・協力、11月の紅葉まつりへの参加、議会傍聴など。町婦連は県の婦人会にも属しているが、県婦連の団体は、相模原・海老名・愛川町のみ。活動資金については、どこも不足気味であり、昆布の販売やお醤油の販売などで集めている。先日は全国大会が北海道であった。長い歴史がある団体なので、私たちもできるだけ婦人会として残ってやっていきたいと思う。来年度は関東ブロック大会の開催地に神奈川県が選ばれた。関東地区の婦人会の皆様が一堂に会する機会なので、無理のない範囲でできる限り協力したい。新規会員の勧誘を積極的に行いながら、会員相互の交流を図って、地域貢献を目的とする活動に努めてまいりたい。

○（愛川町子ども会連絡協議会）ふれあいレクリエーションについては、今年も11月の第2土曜日を子ども会の日として、小学校6校で実施する。地域団体の参加については協力を得てきているところだが、老人会や婦人会、そういった団体と昔遊びをしてふれあうという本来の目的があいまいになっている。原点に立ち返って、老人会等の参画を増やせるようにやっていきたい。交流行事については、今年も色々な形で、皆が交流できる場を作っていきたい。子ども会自体がなくなっているところが多く、育成会の配下に子ども会部があるところが増えてきているので、これから組織を考え直していかなければいけないかなというのが、今年の大きなテ

審 議 経 過

(4 / 8)

マ。意見交換もできればと思っている。

○（愛川町青少年指導員）今年度、より自立的な活動ができる組織作りを目指して担当グループ分けを行った。これまでの受け身の参加型から、自立的な組織へとシフトチェンジをしていくことを目的としている取り組み。今年度始まったばかりだが、今月の13日、14日に愛川ふれあいの村で開催した「青少年健全育成者研修会」においても早速その効果が形となって現れ、「バルーンアート」の講座では青少年指導員自身が講師を務め、参加者にレクチャーするという方法を取り入れた。この研修会での手応えと学んだことを今後の地域活動にしっかり活かし、さらに一丸となって取り組んでいきたい。

○（愛川町スポーツ推進委員）4月に委嘱式があり、今年度は5名が新たに入れ替わりスタートを切った。5月は普通救命講習会を愛川消防の協力のもと13名の参加で開催。6月はやまなみ地域の交流事業活動が初めての試みで、愛川町と清川村が合同で主催し、厚木市・伊勢原市・秦野市を愛川町に招待し、総勢89名で楽しく交流できた。9月には県央ブロックの活動があり、今年度は厚木市が担当となるので、そちらに参加していきたい。11月には相模原市で神奈川県県庁の活動があり、1月には相模原ブロックの活動に招待されているのでそれぞれ参加予定。2月には神奈川県スポーツ推進大会が小田原市で開催されるので、一人でも多くの委員を連れて行ってきたい。

○（愛川町地区健全育成組織連絡協議会）21行政区の各育成組織の代表者で構成しており今年度は一部の地域において役員改選があった。主な事業としては年2回の会議のほか、来年1月には青少年健全育成大会を予定している。育成大会では、例年第1部で各地区の事例発表、第2部で講演会を実施しており、事例発表は、今年度は宮本区と下谷八菅山区の予定。各地区において

審 議 経 過

(5 / 8)

は活発に活動を行っており、さまざまな活動が計画されているほか、青少年健全育成に関わる他団体との連携を図りながら、地域のコミュニティ活動や防犯活動などを行っている。一方で、役員のなり手不足に悩む地域もあり、今後の会議等において意見を伺い、各地区の課題を共有しながら焦らずより良い方向性を見出していきたい。

○（愛川町文化協会）昨年度は創立 50 周年を迎え 10 月に記念式典および講演会として能の鑑賞「経正」を開催した。10 年ぶりとなる能の公演は観客からも大変好評で、町民の方に我が国の優れた伝統芸能に触れる機会を提供することができ、大きな喜びと達成感があった。ここ最近加盟団体の脱退が続いていたが、昨年度は 2 団体が新規加入し、会の中に新たな交流や連帯が生まれたことで、活動にも活気が生まれた。新規加盟団体はフラダンスと和太鼓で、華やかな活動となっている。今年度は、ふるさとまつり文化展を 10 月 24・25 日、文化芸能発表会は 25 日に実施予定。年度末には文化協会広報紙 16 号の発行を予定している。今後も団体で交流や連携を深め、さらなる文化協会の発展に寄与していく。

○（愛川町スポーツ協会）昨年度は、文化協会と同様に創立 50 周年記念事業をはじめ、さまざまなスポーツイベントを開催した。今年度の本協会の重点的な取り組みとしては、10 月 11 日に「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」を本協会とスポーツ推進委員連絡協議会と実行委員会形式で実施する。当日は、町民の交流を深め、生涯スポーツ推進の場となるよう、約 30 種目の多彩なスポーツ・レクリエーションをスタンプラリー方式で体験できる。パリオリンピック金メダリストの元柔道選手などもお招きする予定なので、楽しんでいただきたい。このほか、各種目協会による町総合体育大会やスポーツ教室、スポーツ協会主催のスポーツセミナー開催など、協会事業の充実を図っていく。また、各種目協会の強化育成や相互交流、広報活

審 議 経 過

(6 / 8)

動の推進、立科町との交流、町一周駅伝競走大会への協力など生涯スポーツの推進に努める。当協会の 21 加盟種目協会が一致団結し、町民皆様の健康の維持や増進、生涯スポーツの充実と競技スポーツの向上など、さまざまな場面で町のスポーツ振興に貢献していきたい。

○（委員 C）小中学校の校長会を代表してきた。学校では、4 月から令和 8 年度がスタートし、1 学期も後半に入ってきている。これまで、運動会など順調に開催することができた。中津第二小学校だけは秋の運動会だが、それ以外は終えている。去年は雨天で延期になった学校もあったが、今年はすべて予定通りできた。今年度、特別な取り組みとしては、水泳指導の民間委託。昨年度から始まっているが、今年度は中津小学校と高峰小学校がレオスイミングスクールに委託する。2 学期の実施に向けて今準備をしている。今年度は 7 月 17 日が 1 学期の終業式となり、少し長い夏休みになるが、地域の皆様のお力を借りながら子どもたちの健全育成に努めていきたいので、引き続き連携をお願いしたい。

○（委員 F）今日の議題に部活動の地域移行という話が出ていて、新たな方向性が示されていると思った。これからはいかに地域で子どもたちや学校を支えられる体制を作っていくかということだと感じた。今、幼稚園で働いているが、子どもたちが選んだスイカ、キュウリなどを植えるところだが、去年は職員だけでは難しかったので、地域に「畑の先生」をお願いしようということになり、地域の方の力をお借りして作っているところ。これからはサルとの知恵比べが始まるが、本当にいろんな意味で地域の方との繋がりを大切にしていくことがとても大事で、この会議でも、皆様との繋がりが大事だなと改めて感じたところ。

○（委員 B）先日、神奈川県社会教育委員連絡協議会の総会に参加した。その中で、「地域社会における学習の支援、社会教育委員としての視点としてできること」というテーマで講演があった。

審 議 経 過

(7 / 8)

本町は、令和4年度・5年度の研究大会で、町では「人づくり」「地域の繋がり」について発表させていただいたところだが、この講演を聞いて、愛川町の社会教育委員は間違ったことをしていないと思った。発表する中で絆もでき、これから自分たちがやるべきことが見えてきた感じがした。このたびの講演を聞いて、もう一度、今のメンバーで何かできることがないのかなと思った。また、20数年、育成会に関わってきて、小学生は関わりが強くなってきているが、中学生・高校生となると地域との繋がりというのが薄いので、そこがこれからの育成会の課題かなと考える。この会議でいろいろ情報を得られるので、それをいかに活かしていくかを皆で話し合いたい。

(5) 社会教育委員の活動について

＜事務局から説明＞ 「社会教育委員活動のためのハンドブック」と今年度の活動について

○(委員G) 所属しているPTAに、先日、地域の方から、地域の伝統文化である「おはやし」の継承をしたいということで、授業としてやらせていただけないかと話があった。学校にフィードバックしたところ、ぜひやりたいということで、6月に開催した。PTAとしても見学したが、半原には地区のお囃子があり、たたきくらべをしたりした。それがまさに社会教育に繋がるのではないかと考えて発言させていただいた。

○(委員E) 地域の文化を伝えていこうという志がとても大事。愛川町はスポーツや文化などの活動は盛んだが、文化の継承については欠落している。たとえば地名のイントネーションが違うことなど。おまつりもやらなくなっている。半原の公民館では歴史の講座を開催しているが、知らない話がたくさんあって興味深い。子どもたちにも興味を持ってもらうのが大事。

○(委員C) 校長が集まる機会は月1回くらいある。半原小のとりくみというのを校長はきっとほかの学校に発信してくれると思う。情報を共有しながらやっていきたいと思う。3小学校では

審 議 経 過

(8 / 8)

卒業証書を紙漉き体験して作っていたが、中津第二小が昨年度から始めた。今年度は中津小と菅原小が紙漉き体験をし、それが卒業証書となる。繊維会館とも連携しながら、海底和紙がどのような歴史のなかで生まれたかを学んでもらいながら体験をできるようにしたい。

5 その他

<事務局から説明>

(1) 県の社会教育関連事業について

(2) 令和8年度版 生涯学習ガイドブック

(3) 今後の会議日程

6 閉会 副議長

議長
署名欄

萩原 庸元

令和 8 年度第 1 回愛川町社会教育委員会議

令和 8 年 6 月 25 日 (木)

愛川町文化会館 3 階 特別会議室

(敬称略)

選 出 区 分	氏 名	備 考	
学識経験者	はぎわら のぶもと 萩原 庸元	元社会福祉協議会会長	出席
	ほんだ てるみ 本多 照美	子ども会連絡協議会理事 元主任児童委員	出席
	かたやま ち か こ 片山 智絵子	元小学校校長 清川村幼稚園 園長	出席
学校教育関係者	かや やすゆき 茅 泰幸	小中学校校長会代表	出席
家庭教育関係者	さかきばら なつこ 榊原 奈津子	P T A 連絡協議会代表	出席
社会教育関係者	きのした ま き こ 木下 眞樹子	婦人団体連絡協議会代表	出席
	おおや なおかず 大矢 直和	子ども会連絡協議会代表	出席
	よしだ ひさし 吉田 寿	青少年指導員連絡協議会代表	出席
	やまぐち あつし 山口 淳	スポーツ推進委員連絡協議会代表	出席
	さいとう あきら 齋藤 晶	地区健全育成組織連絡協議会代表	出席
	はら けいすけ 原 啓祐	文化協会代表	出席
	こ ざ の きみお 古座野 君夫	スポーツ協会代表	出席

(令和 7 年 5 月 1 日～令和 9 年 4 月 30 日)